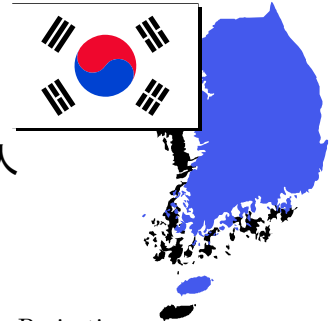


J T M ・ ファクトシート 2007

韓国人の海外旅行マーケット

2006年の韓国人の海外旅行者数は前年比15%増、1,161万人

出国率は日本の13.7%を大きく上回る24.0%。



出所：KNSO, 「Population Projections」, 2000

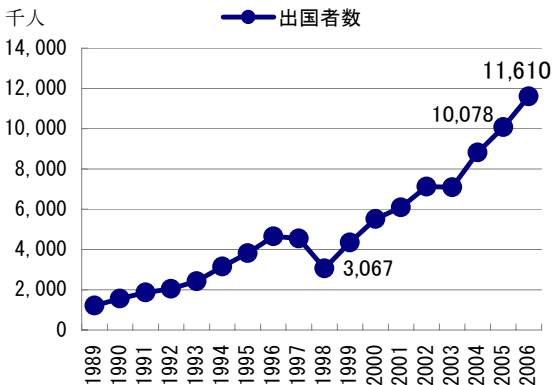
1. 急激に増加する海外旅行者

経済の動きと連動し、順調に増加 直近8年間で850万人の伸び

韓国で海外旅行が自由化されたのは1989年。以来、韓国の旅行者は国内経済に連動し増減を繰り返してきた。全体的にみれば順調に増加してきたが、1998年は通貨危機の影響により海外旅行者数は140万人以上減少、約300万人まで落ち込んだ。しかしその後の回復は早く、経済成長と平行して海外旅行者数も再び増加に転じた。2003年はSARSの影響を受け0.5%減少したものの、2004年は25%、2005年に14%伸び、ついに1,000万人を超えた。2006年に入っても成長を続け前年比15%増加の1,161万人となった。

2006年の韓国人出国率(人口に対する海外旅行者数の比率)は24.0%となり、日本人出国率の13.7%を大きく上回る。ここからも韓国人出国率の高さが見て取れる。(2006年日本人海外旅行者数:1,753万人)

1-1 海外旅行自由化後の韓国人海外旅行者数の推移



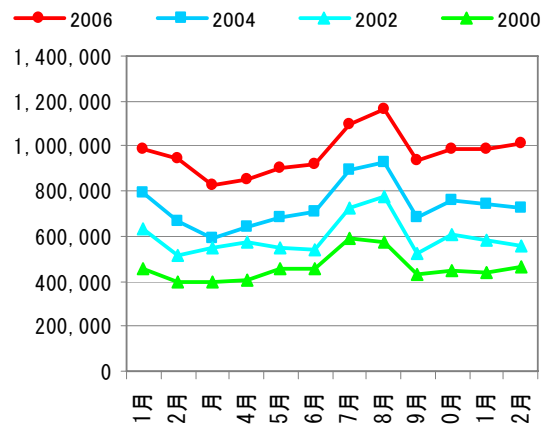
出所：Korean Tourism Organization

海外旅行のピーク期は夏休みと旧正月

2. 韓国人海外旅行者の特徴

韓国人の海外旅行者数を月別に見ると、社会人や学生が夏期休暇を取る7、8月が最も多く、旧正月前後の1、2月が次のピーク期を形成している。9～12月、3～6月は海外旅行のオフシーズンだが、中・高校生の海外修学旅行の増加により10月はオフ期の中でも旅行者数が多い月となりつつある。

2-1 韓国人海外旅行者の月別波動



出所：Korean Tourism Organization

3. 韓国人の海外旅行先

変化する旅行情報収集方法

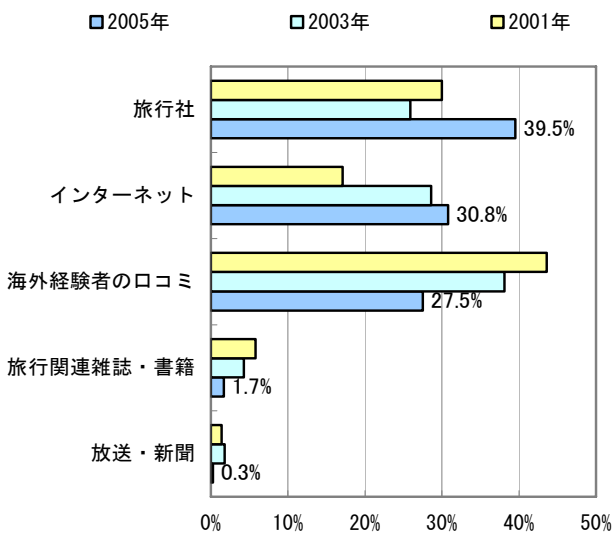
旅行会社とインターネットが3割以上

韓国人の旅行情報収集方法は年々変化している。

2001年と2003年の調査結果※は、「海外旅行経験者からの口コミ」が情報収集方法のうち最も高い率であったが、2005年は、旅行会社を通じて情報を集めるという回答が約4割を占め、最も多くなった。韓国の旅行会社は株式の上場やブランド化、新たなマーケティング方法などを通じて社会における影響力を増しており、情報収集面においても消費者がまず頼る存在になってきた。

また、韓国は世界でも有数のインターネット利用国である。2005年の調査結果は、インターネットによる情報収集が約3割となり、2001年の結果に比較して倍近い伸びとなった。ただし、インターネットの利用率は年齢によって差があり、50代以上は、インターネットより口コミの影響力のほうが依然として強い。

2-2 旅行情報収集方法



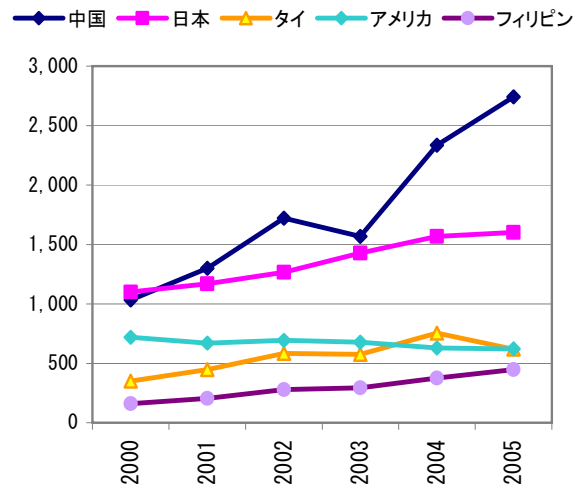
出所：KTO「2005年国民海外旅行実態調査」

※調査方法：空港でアンケート用紙を配布。その上で個別面接を実施／調査対象者：2,000名

中国、日本、東南アジアが最大のデスティネーション

1999年以来、韓国人海外旅行者数は増加の一途を辿っているが、国別で見ると中国が最も高い伸びを示している。次いで日本、米国、それにタイやフィリピンなどの東南アジアとなる。旅行先としてはアジアが全体の約7割を占めている。

3-1 デスティネーション別韓国人海外旅行者数



出所：Tourism Knowledge System

◆「ツーリズム・マーケティング研究所」について

観光に専門特化したシンクタンクとして2001年6月に設立。資本金2億円で、株式会社ジェイティービーが全額出資。ツーリズムに関連する調査や分析、コンサルティングなどを手がけています。

株式会社「ツーリズム・マーケティング研究所」

〒103-0022 東京都中央区

日本橋室町1-7-1 スルガビル9階

Tel: 03-5299-6500 Fax: 03-5299-6512

URL: www.tourism.jp Mail: webmaster@tourism.jp